**PowerSpace P4150+ versatile power amplifier**

設計者とエンジニアのための仕様概要

2023年7月

本製品は、48 kHz/24ビットで動作するデジタルシグナルプロセッシング回路を搭載した、D級アンプです。アンプにはスイッチング電源が採用されており、50/60 Hzで100～264 VのAC電源で通常動作します。アンプにはIEC 320-C14電源インレットがあり、取り外し可能な電源コードが同梱されています。電源スイッチはフロントパネルに設けられています。製品は負荷の短絡や一般的な過熱に対する保護機能を備えています。アンプのサイズは1RUで、ラックマウントが可能です。製品は、可変速度ファン2台で前面から背面へ通気します。出力チャンネルには、それぞれ出力アッテネーターが備わっています。アンプには150 W出力チャンネルが4つあり、ローインピーダンス（4～8 Ω）で使用する場合の周波数特性は20 Hz～20 kHz（±1 dB）、ハイインピーダンス（70/100 V）で使用する場合は周波数特性が50 Hz～20 kHzとなります。アンプのTHD+Nは定格出力時0.04%未満です。出力の接続は、8ピン端子ブロックコネクターで行います。

アンプの性能・仕様は次の値を満たします。チャンネル分離（クロストーク）は80 dB以上（定格出力未満@1 kHz）です。アンプには4ラインレベル入力が備えられており、公称入力感度はバランスラインレベル入力（3ピンユーロブロックコネクター）で4 dBuです。フロントパネルに9個のLEDを備えています。電源LEDは、電源オン（白点灯）、スタンバイモード（白点滅）、電源異常（赤点灯）、温度異常（赤点滅)を示します。各チャンネルごとの信号LEDは、入力信号がある状態（緑点灯）、クリッピングまで3 dB以内（オレンジ点灯）、クリッピング（赤点灯）を示します。各チャンネルごとの出力リミットLEDは、出力リミッターが動作している状態（オレンジ点灯）、異常（赤点灯）、ミュート状態（赤点滅）を示します。デジタルシグナルプロセッサにより、チャンネルごとに選択可能なスピーカーEQプリセットを有効にし、対応するBose Professionalスピーカーをサポートします。 アンプには、ControlCenter CC-1、CC-2、CC-3可変ゾーンコントローラー、またはControlCenter CV41 4-to-1コンバーターで使用するよう設計されたリモートコントロール入力（RJ-45、ControlCenter）が1つあります。アンプは、外部のドライ接点（ノーマリーオープンまたはノーマリークローズ）と併用することでアンプの全出力をミュートするMUTE接点を装備しています。

アンプの本体ケースは塗装鋼板です。アンプの寸法は19インチ（483 mm）で、EIA標準ラックマウントに対応しています。アンプは高さ44 mm（1.7インチ）、幅483 mm（19.0インチ）、奥行き420 mm（16.5インチ）です。重量は6.6 kg（14.6ポンド）です。

アンプは、UL60065（第8版）、UL62368-1、CAN/CSA C22.2 No. 60065-16、およびCAN/CSA C22.2 No 62368-1-14に従ったUL/cULリステッド製品です。また、EN62368-1:2014によってCE要件に準拠しており、すべてのグループおよび国家の違いを含むIEC60065:2014およびIEC62368-1:2014に従ってCB承認されています。このモデルは、FCC Part 15B Class A、ICES-003 Class A、EN55032:2012、EN55035、CISPR 13: Ed.5.0（2009-06）要件にも準拠しています。

5年間の保証を提供します。

アンプの正式名称はPowerSpace P4150+ versatile power amplifierです。